

就職試験 ジャーナル

第43巻 第6号
2022年6月13日発行

特集

就職者の追指導を考える

昨今の新規高卒者の卒業後3年以内の離職率は40%前後で推移している。特に1年以内の早期離職率が依然として高く、送り出す学校側の信頼を失うことにもつながりかねない。早期に安易な離職をしないために、卒業後の生徒についても、援助・指導を展開する体制作りが強く求められる。

今号では、卒業生に対する追指導について考えてみたい。

求められる追指導

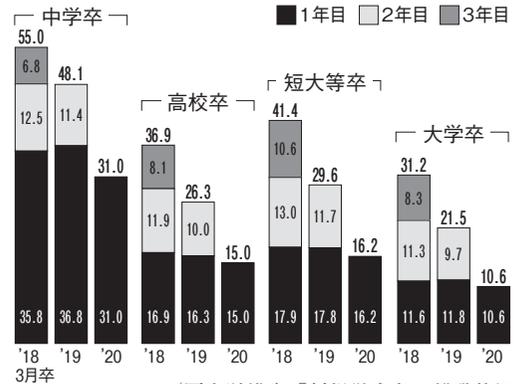
厚生労働省が昨年公表した調査結果によると、2018年3月新規学卒者の、卒業後3年以内の離職率は、中学55.0%、高校36.9%、短大等41.4%、大学31.2%となっている(資料1)。それぞれ前年度から4.8ポイント減、2.6ポイント減、1.6ポイント減、1.6ポイント減で、どの学歴も減少している。3年目にあたる20年度はコロナ禍に見舞われて、転職の動きが鈍くなったためと思われる。

また、卒業後1年以内の離職率は、中学35.8%、高校16.9%、短大等17.9%、大学11.6%となっており、どの学歴も、卒業後3年以内の離職者のうち1年以内の離職者の割合が多い。

早期離職の原因の多くは、「自分の希望と業務内容のミスマッチ」「職場での人間関係」「労働時間・休日・休暇の条件への不満」であるという。18歳という年齢では、職業観や人生観、社会性などの面でまだまだ未熟なケースも多いだろうが、それだけに、生徒が就職先によりよく適応し、進歩、向上していくことができるよう、卒業後も引き続き指導、助言を与えていく必要がある。

入社して何年も経たないうちに、職場に適応できないからと安易に退職してしまうのは、生徒を

資料1 ●学歴別就職後3年以内の離職率の推移



(厚生労働省「新規学卒者の離職状況」)

送り出す学校側にとっても、企業との信頼関係を築くうえで極力避けたい事態である。進路指導部として対策を講じていかなければならない課題と言える。

卒業生のためばかりでなく、在校生のためにも、ぜひとも、追指導について、組織的・計画的な取り組みを進めていただきたい。

追指導の内容と方法

●追指導の内容

就職者への追指導とは、個々の生徒が、高校卒業後に新しく経験した職場生活によりよく適応し、望ましい自己実現が図れるように、卒業後も引き続き指導・援助を行うことである。

基本的には就職者全員が対象となるが、特に配慮が必要となるのは、卒業前から進路先に不満をもっていた者、在学中の行動が不安定だった者、寮や下宿で生活している者、勤務形態が時間的に不規則であったり、残業時間が多い事業所に就職した者、離職した経験のある者、などである。

追指導の目的は、就職先での卒業生の現状と悩みなどを把握し、それらの解決の手助けをしたり、職場への適意欲を喚起させることにある。

追指導の実施時期は、新卒者を対象とする場合、スランプなどに陥りやすい卒業後3か月頃が適当と思われる。年間計画の例としては、

- 4月 追指導年間計画の立案
関係書類（追指導個人カード等）の作成
- 5月 進路未決定者等への面接指導
- 6月 文書による追指導の準備（アンケート等の作成・発送準備）
- 7月 3月卒業生に対するアンケート実施
- 8月 アンケートの回収と整理／クラス会・同窓会を利用しての面談等
- 1月 追指導の資料整理・結果のまとめ
といった流れで行う。

最終的には、卒業の3年後くらいまでフォローできれば申し分ないと言える。

●追指導の方法

一人ひとりの卒業生へ指導を行うにあたっては、「追指導カード」を作成し、整理するとよい。

資料2は、就職と進学合わせて卒業生全員について利用できる。同窓会会員カードとしても活用することができる。各進路先における卒業生の適応の状況について、記録を累積できるようにしておくとうい。

(1)文書による追指導

封書または往復ハガキ等による追指導は、一度に広範囲にわたる激励やアンケート調査が可能なので、よく用いられる方法である（資料3）。

しかし、生徒個々の内面的事実に触れることが困難で、適切な指導、助言、援助が行われにくい。したがって、広い領域にわたって不適応が察知できるような質問内容を心がけなければならない。

また、適応への援助や激励のための資料（在校生の激励文や学校新聞など）を同封して送付するなど、親切で温情のあるものとなるように留意することも重要である。

封書等によるアンケート調査内容には次のようなものがある。

- ①卒業年／課程／クラス／担任
- ②氏名／住所／電話
- ③就職先に関することから
 - ・事業所名／業種／事業品目／従業員数

資料2 ●追指導カードの例

クラス	電気・電子 ABCDEFGHIJ	ふりがな 氏名			改姓 男女
	番				
全 現 住 所	年 月	卒業	年 月 日	第 回生	卒業時担任
	Tel.				
勤務先			仕事の内容	所在地	Tel.
					Tel.
進 学	現 1浪	大学 部 科			
	2浪	年 月入学	年 月卒業		

(記録)

年 月 日	担当者	方法	記 録	備 考

- ・所属部／課／職種／仕事の内容／満足度
 - ・給与／勤務時間／残業／有給休暇／福利厚生
／採用条件との相違／満足度
 - ・職場の人間関係／高卒者の扱い／満足度
 - ・現在の事業所についての全体としての満足度
／転職希望の有無／理由
 - ・相談したいことがら／理由
- ④高校時代の進路指導に対する意見
- ・高校時代の学習活動で役立ったこと、役に立
たなかったこと
 - ・進路指導でよかった点、不満な点
- ⑤後輩への助言
- ⑥友人の状況など

(2)面接による追指導

卒業生の職場を訪問するなど、面接実施による追指導は、最も直接的で効果をあげることができる。対象は卒業生全員に行われるべきものであるが、すべての卒業生に対して行うことは、時間的にも経費面からいっても困難である。

したがって、とくに次のような卒業生に対する重点的なケアとして行われるのが一般的である。

- ①文書による追指導の回答の中で、相談の依頼の
あった者、悩みを抱えていると感じられた者、
職場に溶け込めないでいる者
- ②卒業前から就職先に不満があった者
- ③在学中の生活、行動等に問題があった者
- ④寮、下宿等で生活している者
- ⑤労務管理等のよくない事業所に就職した者

- ⑥身体等に障害がある者、病弱であった者
また、指導方法としては、次のようなものがある。
- ①学校または特定の場所に招集して行く。
 - ②職場訪問・家庭訪問
 - ③同窓会や座談会等の機会を利用して行く。
 - ④多くの卒業生が就職している都市等へ教師が出張して、特定の場所に招集して行く。

面接の際の留意点として、単に興味本位で進路先について聞くのではなく、人生のよき相談相手として接するような心構えが大切である。

(3)職場訪問による面接指導の例

とくに前述のケアを要すると思われる卒業生、その年初めて卒業生が就職した新規の事業所などを重点的に訪問する。

面接指導の進め方としては、次のような手順を踏むのが望ましい。

- ①事前に事業主に訪問の目的、日時、訪問者の氏名等の連絡をとり、了解を得ておく。
- ②事業主に来意を告げ、懇談しながら事業内容、作業能力、勤務状況、労働条件等を把握する。
- ③本人の作業状況を留意し、作業現場を視察する。
- ④面接場所の提供を受けて、面接を開始する。
- ⑤本人に十分に話をさせるとともに、予定した事項を聴取しながら、激励・援助の言葉を伝える。

- ⑥問題のある場合には、その解決について重点的に話し合うようにする。
- ⑦必要ならば、次の面接を約束する。
- ⑧その事業所に卒業生が多数就職している場合には、可能ならば最後に一同を集めて激励する。
- ⑨事業主等への礼状を発送する。

●実施結果の活用

面接や文書による追指導によって得られた結果を検討、考察して、

- ①進路指導の成果として認められるものは何か
- ②進路指導の不十分さによるものは何か
- ③卒業生個々の責任に帰するものは何か
- ④外部の原因によるものは何か

などを明確にすることで、次のようなことがらに役立てることができる。

- ①進路指導の評価
- ②職員の進路指導に対する認識、理解の深化
- ③進路指導の全体計画や個々の計画の改善
- ④指導法の改善
- ⑤生徒の保護者に対する指導資料の作成
- ⑥外部諸機関への働きかけ

追指導の結果は、非常に貴重な資料である。学校の進路指導の改善のためにはもちろん、可能な限り多方面に役立てたい。

資料3 ●往復ハガキによる調査の例

(往信)

拝啓
その後お元気でご活躍のことと思います。本校では、去る五月二十五日に体育祭が行われ、好天気の下で、応援合戦なども昨年以上に充実したものでした。今年の卒業生も多数見えました。来年もぜひおいでください。さて、本校進路指導部では、卒業生の皆さんの現在の状況をお聞きして、今後の指導に役立てたいと思います。返信ハガキに記入のうえ、七月一〇日までに投函してください。

なお、なにか困っていることがありましたら、いつでも相談に応じますので遠慮なくご連絡ください。

敬具

(返信)

卒業年・クラス	年3月卒 年 組	
氏名		
住所		
電話		
就職先	名称	
	住所	
	電話	
	事業品目	
	従業員数	
所属部・課		
職種		
仕事の具体的内容		
職場の満足度	満足・まあ満足・やや不満・不満	
不満の内容 (具体的に書いてください)		
相談したいことがら	相談したい先生の氏名	先生





今号の
イチオシ教材

直前対策にご活用いただける模試・テスト、問題集をご紹介します。
学力の総仕上げ、試験の予行練習にお役立ていただけます。

※模試・テストは、「実施期間外」でのご実施も承っております。

就職模擬試験

高3用 全6回／高3用工業系版 全1回

試験時間●90分

受験料●1,350円(採点料・税込)

付録●「就職対策ハンドブック」(補習教材)

傾向を踏まえた出題と詳細な成績資料により、
弱点の発見と補強が効率的に行えます。

当社の『就職模擬試験』は、出題傾向に基づいた頻出問題で構成されており、弱点分野を効率的に発見できるため、短期間での重点的な試験対策が行えます。

また、多くの企業で見られる記述方式を採用していますので、予行練習としてもお役立ていただけます。



◀ 就職対策ハンドブック

練習問題のほか、就職試験に関する情報をコンパクトにまとめた補習教材。学力の補充、就職への意識付けにご利用いただけます。

SPI 対策テスト

全2回

試験時間●70分

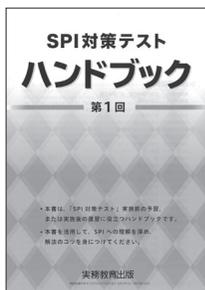
受験料●1,000円(採点料・税込)

付録●「ハンドブック」(補習教材)

本試験と同形式、同レベルの出題内容で、
実力確認と予行練習ができる実戦的なテストです。

当社の『SPI対策テスト』は、試験時間、出題内容、出題数、解答方式、判定基準など、本試験に準拠していますので、信頼度の高い実戦的なテストとなっています。

視覚的で見やすい成績資料により、弱点把握が容易に行え、実力を伸ばすための指針を得ることができます。



◀ ハンドブック

「例題」をもとに、問題を解く手順を丁寧に解説。事前に取り組むことで、得点率のアップ、自信とやる気につながります。

実戦レベルで学ぶ

SPI 対策問題集

体裁●B5判・95ページ

別冊●「正答と解説」B5判・45ページ

「確認テスト」(1回40分・2回分)

定価●680円(税込)

『SPI対策テスト』とテーマが連動!

解答時間内に正確に解き進める力を養います。

本試験レベルの問題を豊富に収録。各問いごとに解答時間の目安が設定され、「SPI」能力検査に必須の解答スピードと正確性を養います。

『SPI対策テスト』と組み合わせるとのご活用により、実力をさらに引き上げます。



★ご検討用実物見本を無料進呈!お気軽にご請求ください。☎03-3355-1801 実務教育出版 教育教材事業部

『就職試験ジャーナル』
バックナンバーについて

本年と前年の『就職試験ジャーナル』のバックナンバーは、小社サイト「教材NAVI」でご覧いただけます。

高等学校のTOPページ (www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/)より、「活用情報(モデルプラン・指導情報など)」→「指導情報」をご覧ください。